

大雄会の 専門家に聞いてみよう!

Daiyukai Health System

改善が期待できる高血圧、

「原発性アルドステロン症」ってご存知ですか?

血圧が下がらなくて困っている方、もしかすると別の病気が隠れているかも知れません。今回からはいわゆる二次性高血圧症の中でも代表的な原発性アルドステロン症についてお話していきます。

第二回 原発性アルドステロン症の検査と治療は何をするの?

原発性アルドステロン症を疑ったらず採血検査を行います。朝の空腹時にベッドで安静になっている状態で採血することが理想なのですが、病院受診をしたタイミングで普通に採血することも多くあります。検査が陽性の場合に次の検査へ移りますが、現在は安全にできるカプトプリル試験で判断するのが一般的です。カプトプリルというお薬に対するアルドステロンの分泌反応を見る検査で、朝の空腹時にベッドで安静になりながら、お薬を飲む前と60分後、90分後に採血します。検査陽性となれば原発性アルドステロン症の診断になります。この時点でアルドステロン拮

抗薬というお薬の内服で治療は可能ですが、しっかりと治療をする場合には手術が必要となります。左右1つずつある副腎の片方からアルドステロンが過剰に分泌されていれば手術ができるため、今度は入院でカテーテルの検査を行っていきます。検査陰性の場合はアルドステロン拮抗薬内服治療を、陽性の場合は手術治療が選択可能です。この手術では腹腔鏡を使って片方の副腎を摘出しますが、開腹手術と比べ術後の傷痕が小さいことが特徴です。

今回は改善が期待できる高血圧として、原発性アルドステロン症についてお話してきました。今回の連

載で皆さんが高血圧治療に興味を持っていただければ、また少しでも皆さんのお役に立てれば幸いです。



監修

内分泌・糖尿病内科診療部長

はしもと まさや
橋本 昌哉 医師

〈主な資格〉

- ・日本糖尿病学会認定糖尿病専門医
- ・日本内分泌学会認定
内分泌代謝科専門医



文献：原発性アルドステロン症
診療ガイドライン2021
日本内分泌学会編

